

静岡大学理学部同窓会会報

NO.7

発行所
静岡大学理学部同窓会
静岡市大谷836
静岡大学理学部内
Tel 0542-37-1111(代表)
会長 赤池大樹

二十一世紀の理学部に向けて

理学部長 和田清美



今や二十世紀末である。政治・経済の世界では、ソ連を始め東欧諸国が、大きな変革の波に洗われている。そこでは、人間の復活と真の民主主義への希求が盛んである。

科学の世界では如何であるか。例えば、二十世紀初頭のX線・放射能の発見

に続く自然科学の進歩は、その発展の裏街道において原爆をもたらした。大戦後の原子力の平和利用としての原子炉による電力開発は、チェルノブイリの大きな教訓を次世紀に申し送った。

また、コンピュータの高性能化と平行して、諸科学は飛躍的に発達を遂げ、その総合としての宇宙開発は第一期を終ったといえる。今後、二十一世紀に向け諸科学は、その先端性を求めて多角的な展開をすることは必至である。私共、理学部が将来に向けてどの

あり、その意味での理学部の活性化こそ現時点での緊急課題であろう。最近、「大学の自己評価」が取り上げられていくが、若手が研究を意欲的に進めており、将来が楽しみである。一方、「新しい皮袋に、新しい酒を」の考えも必要であり、理学部では新学科構想が纏まりつつある。冒頭にも思いつつ最後に述べたが、理学部の社会的評価について、同窓生諸君の社会への貢献度も大きく寄与すると考えた

ようになり変換して行くか、大学開放・国際化・青年人口減少の時代での「大学淘汰の時代」に先立つこの数年が勝負と考える。先端性が求められる程、それが多岐にわたる程、基礎科学の重要性が認識されるはずであり、理学が窮理の学とすれば、理学部は名実共に二十一世紀に通用すると考える。従って、それを構成する数学・物理学・化学・生物学・地球科学自体の存在意義も持続しうる。むしろ、「古い皮袋に、新しい酒を」の中身の問題が大切で



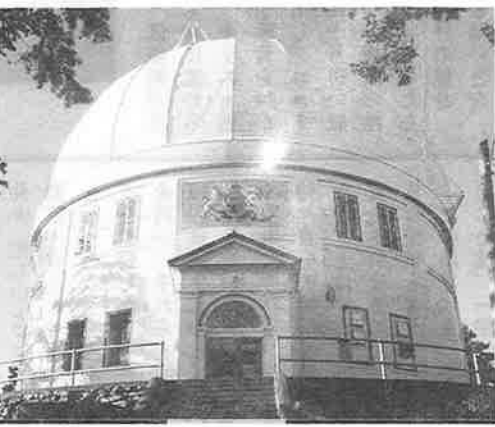
現在の片山校舎の第一期生として、工事のダンブと一緒に勉強した頃が懐かしく思われる年になってしまった。物理学科を卒業して天文学に転じ、これまでなんとかメシを食ってきた。今は私が天文に転じた当時とは大違いで、ジャーナリズムでも天文・宇宙の事が日常的に取り上げられている。その一例は天才の宇宙物理学者と言われているホー

最近の話題から

一攫千金の夢

東海大学文明研究所 比田井(高田)昌英

この十年間で物理学科に宇宙物理学講座を、地学科に天文学講座を、教養課程の一般教育科目に宇宙・天文の講義をそれぞれ設けた国公立大学の増加があるように思う。静大はどう



筆者が2年前に1年間滞在したカナダ・ドミニオン天文台の1.8m望遠鏡ドーム。

キングの人間であろう。彼自身に興味があるのか、彼の宇宙論に興味があるのか、人によって違うが、ともかく彼の宇宙論の本はよく売れている。このような状況を生み出した背景の一つに

千度を持ち、主系列に沿って分布する。なぜこのように呼ばれているかという、太陽とこれらの星の元素の存在量が太陽より多かったり、少なかったりするからである。つまり、化学組成が太陽に代表される宇宙諸天体の平均的な値と異なっているのである。

化学特異星はその組成異常性によって、四種類に分類されている。そのひとつに、水銀-マンガン星と呼ばれる種類がある。これは水銀が太陽より百万倍、マ

同窓生の皆さんへ

理学部同窓会副会長 加藤和男



あけましておめでとうございませう。会員の皆様甚なにご活躍の事と推察致します。

内閣の改造で平成二年の幕が落とされ平成三年が始まりました。ベルリンの壁の崩壊から始まったドイツの統一による世界情勢の大変化や、中東情勢の変化で多大な影響を受けた昨年で

した。中東は今年になりさらに大きく情勢が変わろうとしています。平和な世界でありたいものです。教育界に目を遣れば、神戸市内の高校でおきた生徒校門死事件、痛ましいものはなくおおいに考えさせられました。これを契機に生徒の遅刻、さらに生徒の管理について論議されました。生徒指導で反省すべき点がありますが、しかし、生徒の遅刻に対する解決策となる妙薬はなく、社会、学校体制、家庭などの複合的な結果として遅刻が増えている傾向にあると思えます。



最近の理学部の状況

数学科教授 近藤亮司

援会に同窓会として寄附を行なったことが、以前、会長からの報告にありました。この度、同後援会と静岡大学から礼状が有りましたので報告させて頂きます。三月には、新しい理学部同窓生を迎えます。諸氏の益々の活躍を祈念致します。尚、八月には総会を静岡市で開催します。ご多忙であ

り、また、遠路ですが多数の会員の皆様方のご出席をお願い致します。ところで、同窓会役員会の件ですが、どことなく若い同窓生が我々と一緒に同窓会を発展させるべき仕事をされることを期待します。依頼がありましたら是非、積極的に参加してください。(地学履修コース第一回卒)

次に、日本を背負う世代として考えなければならぬ問題に環境の問題があります。子孫にかけがえのない環境を残せないと大問題です。会員の中で直接環境関係に携わっている方があると思いますが、英知を出し地球が生命のある天体として宇宙に存続をするように解決されることを期待します。

最後にになりましたが、静岡大学国際交流事業推進後という期待がわく。つい最近、二、三個の星に金が百倍以上も存在しているという観測結果が発表された。しかし、まだこの結果は確認されていない。私も金やプラチナには学問的・世俗的興味があるので、元素解析をしてみたいと思っ

